

# 令和5年度 第1回恵那市スポーツ推進審議会

日時：令和5年11月28日（火）

午後3時00分～

場所：恵那市役所4A会議室

1. 開会

2. 委嘱書の交付

3. 会長あいさつ

4. 会議の公開、公表について

5. 報告

報告1 こども園運動プログラムの実施について（P4）

報告2 青戸慎司氏によるかけっこ教室の実施について（P5）

報告3 専門スポーツ教室の開催について（P6）

報告4 運動・スポーツに関するアンケート調査結果について（P7）

報告5 休日の部活動地域移行について（P9）

報告6 恵那市体育功労賞の授与について（P11）

報告7 市内在住スポーツ選手の活躍について（P12）

報告8 ポーランド・オリンピック委員会の記念式典への参加について（P15）

## 6. 議題

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について・・・資料（別紙1）

## 7. その他

- ・スケート場冬季営業について
- ・日本大正村クロスカントリーの開催について
- ・恵那峡ハーフマラソンの開催について
- ・小平奈緒さんスケート教室&講演会の開催について

## 8. 閉会のあいさつ

No.	所 属	氏 名	役職	備考
1	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	三 宅 祥 市	会長	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会会長
2	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	酒 井 俊 郎	副会長	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科教授
3	中京学院大学経営学部	横 谷 淳	委員	中京学院大学経営学部専任講師
4	恵那市障害者団体連絡協議会	三 宅 弘 文	委員	恵那市障害者団体連絡協議会会長
5	恵那市地域自治区会長会議	瀬 瀬 佳 恭	委員	飯地地域自治区会長
6	(株) アクトス	磯 村 信 雄	委員	(株) アクトス 管理部部長
7	(公財) 恵那市体育連盟	山 本 好 作	委員	(公財) 恵那市体育連盟会長
8	恵那市医療福祉部	鷹 見 健 司	委員	恵那市医療福祉部長
9	恵那市教育委員会	工 藤 博 也	委員	副教育長
10	恵那市小中学校校長会	可 知 浩 幸	委員	恵那北中学校校長
11	恵那市こども園長会	安 藤 美 香 子	委員	大井こども園長

1	教育委員会事務局長	鈴 村 幸 宣	
2	医療福祉部 健幸推進課長	瀬 瀬 雄 二	
3	教育委員会事務局 スポーツ課長	服 藤 知 晃	
4	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	柘 植 篤 志	
5	教育委員会事務局 スポーツ課スポーツ推進係長	足 立 大 輔	
6	教育委員会事務局 スポーツ課スポーツ推進係主事	石 井 健 登	
7	(公財) 恵那市体育連盟 専務理事	三 浦 幸 慈	
8	(公財) 恵那市体育連盟 事務局長	大 嶋 卯 巳	
9	(公財) 恵那市体育連盟 事務局長代理	足 立 真 司	
10	(公財) 恵那市体育連盟 主事	砂 場 柁 人	

## 報告1 こども園運動プログラムの実施について

平成28年度から中部大学へ委託し、実施しているこども園運動プログラムでは、市内の公立こども園で運動遊び交流会を、全14園で実施した。

親子運動遊び交流会では、新聞紙やタオルなど身近にあるものを使ってふれあいながら体を動かし、親子で楽しい時間を過ごすことができた。

この後、保護者向けに幼児期の運動、生活習慣の大切さについての講話を行い、保護者からは「遊びを通して身体の使い方を学ぶことがわかった」「親子運動遊び後の講演で話を聞き、ダンス教室に通うことに決めた」など子供とのかかわり方や身近なものを使った遊びについて考える機会となり大変好評であった。



親子交流会の様子（山岡こども園）



保護者向け講話の様子（大井こども園）

## 報告2 青戸慎司氏によるかけっこ教室の実施について

陸上100m走元日本記録保持者であり、日本人男子初、夏冬オリンピック出場の青戸慎司氏を招き、5月から9月までに市内小学校全14校でかけっこ教室を実施した。

小学4～5年生を中心に行い、参加人数は計785人であった。事前の調査で講話を希望した6校（恵那北小学校、飯地小学校、武並小学校、大井小学校、大井第二小学校、上矢作小学校）では、かけっこ教室後に同講師による講話も実施した。

各かけっこ教室の終了後に行ったアンケートでは、児童から「あきらめずに挑戦したい」、「腰ピンを意識して生活したい」、「自分ではできると思いながら生活をしていきたい」などポジティブな意見が多くありました。

また、9月30日（土）に市内小学生への公募による教室を開催し、参加者は小学生82人、保護者53人、合計135人であった。



かけっこ教室の様子（武並小学校）

### 報告3 専門スポーツ教室の開催について

トップアスリートとの交流機会の充実として、トップ実業団である中部電力ボート部、デンソーボート部、トヨタ紡織ボート部と連携し、令和5年8月12日（土）笠置峡ボート・カヌー場でボート教室を開催し、21人が参加した。

また、小中学生のバスケットボールクラブ員及びその指導者に対して、B3リーグ所属の岐阜スゥープスによるバスケットボール教室を、令和5年8月20日（日）に開催し、103名が参加した。参加者からは「現役選手から実際に学べてとても参考になった」等好意的な意見が寄せられた。

#### 実業団によるボート教室



#### 岐阜スゥープスによるバスケットボール教室



## 報告4 運動・スポーツに関するアンケート調査結果について

市内小学5年生の児童及び中学2年生の生徒を対象にスポーツ推進計画の目標指標の現状値を確認するため、令和5年9月12日（火）～10月12日（木）アンケート調査を行った。回答結果詳細は別紙のとおり。

推進計画の目標指標については以下のとおり。

### スポーツ推進計画 目標指標の成果

#### 【子どもの健全育成】

目標指標	算出方法		単位	H26 策定時	R 2 中間見 直し	R 3	R 4	R 5	目標数 値 R 7
運動・スポーツ が好きな 子どもの割合	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。」より 「好き」と答えた割合	小学生	%	62.7	66.5	55.1	56.6	58.8	75.0
		中学生	%	52.0	54.9	45.9	48.8	53.2	63.0
子どもの スポーツ 実施率	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「その運動やスポーツを行った日数を全て合わせると、1年間にどの程度になりますか。」より 「年に151日以上」と「51日～150日」と答えた割合	小学生	%	62.5	68.2	76.9	70.0	73.5	79.0
		中学生	%	76.8	80.9	81.9	83.1	80.2	90.0

#### 【競技力向上】

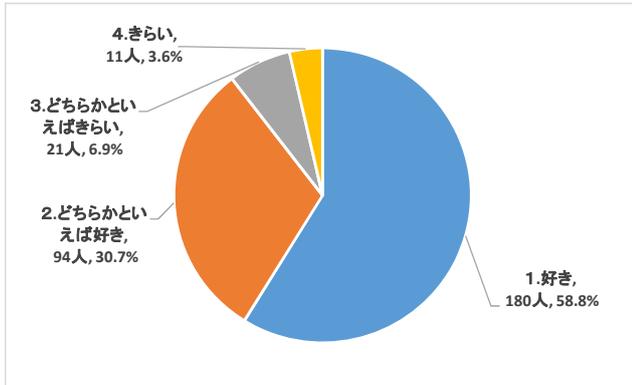
目標指標	算出方法		単位	H26 策定時	R 2 中間見 直し	R 3	R 4	R 5	目標数 値 R 7
子どもたちの 「上達したい」 意欲・やる気	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたがその運動を行ったきっかけはなんですか」より 「運動やスポーツがうまくなりた いから」と答えた割合	小学生	%	52.0	42.7	39.5	32.8	47.7	52.0
		中学生	%	50.2	40.2	39.8	35.0	37.3	51.0

## 運動・スポーツに関するアンケート調査について

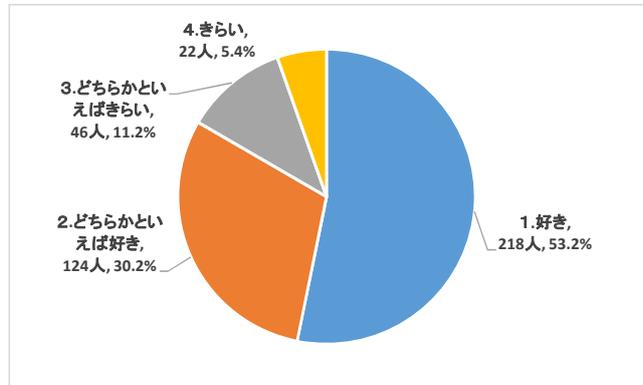
対象	市内公立小学校の5年生全児童 市内公立中学校の2年生全生徒
方法	インターネットの回答フォーム
期間	令和5年9月12日～10月12日
回収率	83.3% (716/859)

あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。

【小学生】

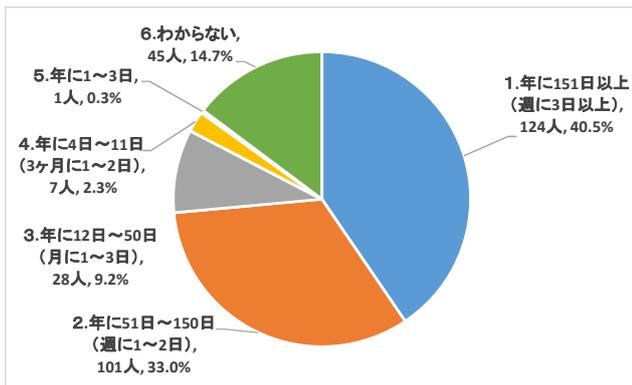


【中学生】

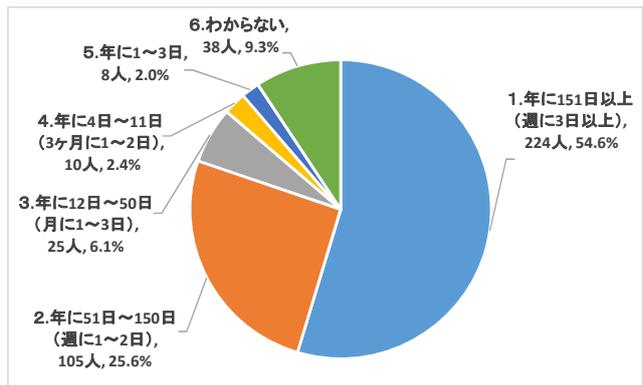


あなたが学校の授業以外で運動やスポーツを行った日程を全て合わせると、1年間にどの程度になりますか？

【小学生】

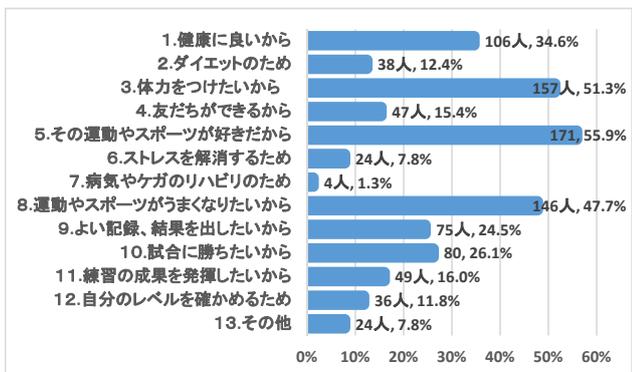


【中学生】

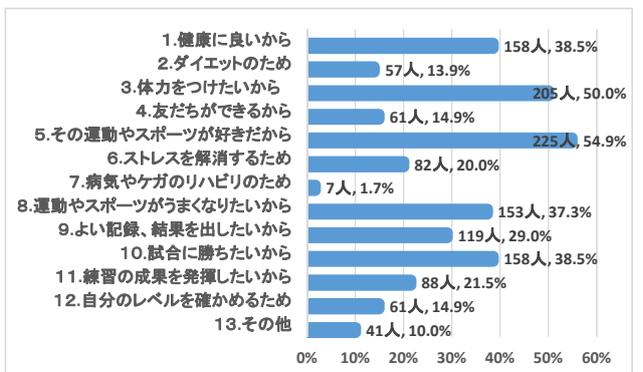


あなたが運動やスポーツをするきっかけはなんですか。(当てはまるものすべてを選んでください。)

【小学生】



【中学生】



## 報告5 休日の部活動地域移行について

### 1. 国が示す方向性・目指す姿

- ・地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ・少子化の中でも将来にわたり我が国の子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ・自己実現、活力なる社会との絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ・子どもや大人、高齢者や障がい者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ・「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

### 2. 市の状況

令和4年度時点で、休日における部活動が地域移行されていない2つの部活動について、令和5年7月に地域移行が完了した。

#### (1) 上矢作中学校卓球部

令和5年4月から休日部活動を地域に移行した。

移行先：上矢作卓球クラブ（福寿の里スポーツクラブ）

#### (2) 串原中学校卓球部

令和5年7月から休日部活動を地域に移行した。

移行先：串原ジュニア卓球クラブ

市内中学校部活動の状況（令和5年5月1日現在）

		恵那西	恵那東	恵那北	岩邑	山岡	明智	串原	上矢作
陸上競技		○	○			○	○		
軟式野球		○	○	○	○	○			
ソフトボール		○	○						
バレーボール	男子	○		○					○
	女子	○	○	○	○	○	○		○
バスケットボール（男女）		○	○		○	○	○		
ソフトテニス（男女）	男子	○	○			○	○		
	女子	○	○	○	○	○	○		
剣道（男女）		○	○						
卓球（男女）		○	○	○	○		○	○	○
バドミントン（男女）		○							

※○：部員が在籍している部活動

スポーツ施設を使用料免除で利用している18歳以下の団体の内、中学生を対象としている（会員としている）団体数

団体区分	団体数	備考
保護者クラブ	26 団体	代表者が毎年変更となっている団体を抽出
競技団体	36 団体	
総合型スポーツクラブ	5 団体	
計	67 団体	

## 報告 6 恵那市体育功労賞の授与について

恵那市出身の遠藤二千翔選手が特別国民体育大会(八戸国体)冬季大会スケート競技会において、成年男子 5000mの部において大会新記録で優勝しました。市ではその栄誉をたたえ、恵那市体育功労賞を授与しました。

令和 5 年 10 月 25 日 (水) 中日新聞掲載記事

### 遠藤選手に市体育功労賞



特別国民体育大会冬季大会のスピードスケート競技・成年男子5000mが決勝で滑走する遠藤選手(今年2月) 青森県八戸市のY.S.アーナで

恵那市二郷町出身で、2月の特別国民体育大会冬季大会のスピードスケート競技(成年男子5000m)で優勝した遠藤二千翔選手(23)に24日、市体育功労賞が贈られた。市役所で授与式があり、遠藤選手は「市の皆さまに夢や希望を与えられるように頑張りたい」と語った。(石川才子)

遠藤選手はスケート指導者の父・龍一郎さん(55)と中津川市を始めた。大学を卒業して20の中津商業高校教諭の影響で22年度から恵那市体育連盟に所属し、県強化指定選手として北海道帯広市を拠点に練習に専念している。

22年度は恵那市出身選手として初となる国際大会の日本代表に選ばれるなど活躍。冬季国体は大会新記録で優勝した。国際大会後の時差調整や体調不良があり、レースはハイペースできつかったけれど、何とか最後は勝とうと思っていた」と振り返った。

功労賞授与式では小坂喬峰市長が「すばらしい成績を残された」と功績をたたえた。遠藤選手は「皆さまの応援があったからこそ成し遂げられた。特別な賞を受賞できてうれしい。引き続きワールドカップ(W杯)日本代表や国民スポーツ大会(現在の国体)の優勝を目指すと応じた。

帯広市では世界レベルで戦う選手も練習しており、その練習メニューを学んで実践したことが好結果につながっている。

「スケート競技はスピード感が魅力で、会場の盛り上がりになる。もっともっと上を目指し、追求していきたい」と意欲を見せていた。

「もっともっと上を目指し、追求する」

恵那市国体冬季大会スケートVを評価

## 報告7 市内在住スポーツ選手の活躍について

### 1. 全国大会優勝

大会名 特別国民体育大会冬季大会「未来へつなぐ八戸国体」スケート競技  
会スピード競技  
開催日 令和5年1月30日～2月2日  
会場 YSアリーナ八戸（青森県八戸市）  
種目 成年男子5000M 優勝  
所属 恵那市体育連盟  
選手 遠藤 二千翔（三郷町）



### 2. 全国大会等出場選手

（令和5年3月から10月までに激励会を開催した方）

大会名	種目	所属	氏名	地区
大正製薬リポビタン第45回 全国選抜高校テニス大会	テニス	麗澤瑞浪高等学校	山田奈々	大井
第50回記念全国高等学校選 抜卓球大会	卓球	関商工高等学校	大村皐月	大井
第8回全国ミズノカップジュ ニア選抜ソフトテニス選手権 大会	ソフトテニス	恵那東中学校	山崎隼人	大井
		恵那東中学校	佐藤生琉	大井
第41回全国高等学校女子ソ フトボール選抜大会	ソフトボール	多治見西高等学校	仁平紗知	大井
		多治見西高等学校	馬場玲奈	大井
第68回全国私立高等学校女 子ソフトボール選抜大会	ソフトボール	多治見西高等学校	仁平紗知	大井
		多治見西高等学校	馬場玲奈	大井
U6 Run Bike JAPAN CUP 2022 (U6 ランバイクジャパンカ ップ)	ランバイク	オマリーズ岐阜	近藤大悟	中野方

大会名	種目	所属	氏名	地区
JOC ジュニアオリンピックカップ大会 2023 年度全日本ジュニアレスリング選手権大会	レスリング	中津商業高等学校	伊藤誠基	岩村
令和 5 年全日本柔道形競技大会	柔道	恵那市柔道協会	森下美加	大井
令和 5 年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会	レスリング	中津商業高等学校	伊藤 慶大	明智
第 39 回全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会				
令和 5 年度全国高等学校総合体育大会	柔道	関商工高等学校	千藤 地球	東野
	ボート	恵那高等学校	市岡 俊祐	長島
令和 5 年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会	陸上	中京高等学校	中山 鈴菜	大井
令和 5 年度全国高等学校定時制通信制体育大会第 54 回剣道大会	剣道	阿木高等学校	佐々木 秀太郎	長島
令和 5 年度全国高等学校定時制通信制体育大会第 58 回陸上競技大会	陸上	阿木高等学校	加納 由宇	長島
	陸上	阿木高等学校	安江 優輝	大井
	陸上	阿木高等学校	近藤 颯	岩村
令和 5 年度全国高等学校定時制通信制体育大会第 56 回ソフトテニス大会	ソフトテニス	阿木高等学校	三浦 葵	大井
令和 5 年度全国中学校体育大会第 54 回全国中学校柔道大会	柔道	恵那東中学校	切嶋 黎	大井
第 68 回全国高等学校軟式野球選手権大会	軟式野球	中京高等学校	西尾 昇真	武並
第 34 回全国都道府県中学生相撲選手権大会	相撲	麗澤瑞浪中学校	春日井 雅大	山岡
令和 5 年度全国中学校体育大会第 53 回全国中学校相撲選手権大会				
Sky presents 2023 年度全国中学校ゴルフ選手権大会	ゴルフ	恵那東中学校	後藤 城一	大井
特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」	レスリング	中津商業高等学校	伊藤 慶大	明智
	ローイング	岡山大学	神尾 羽菜	中野方
	軟式野球	中京高等学校	西尾 昇真	武並
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」	水泳	-	古山 沙奈美	大井
特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）	陸上	中京高等学校	中山 鈴菜	大井
JOC ジュニアオリンピックカップ第 17 回 U18 陸上競技大会				

大会名	種目	所属	氏名	地区
みんなであつなごうリレーフェスティバル 2023	陸上	山岡中学校	酒井 伶菜	山岡
JOC ジュニアオリンピックカップ第 54 回U16 陸上競技大会				
2023 年全日本卓球選手権大会 (マスターズの部)	卓球	恵那クラブ	林 孝治	長島
文部科学大臣杯争奪第 32 回日整全国少年柔道大会	柔道	恵那市柔道協会/ 恵那少年柔道クラブ	吉田 詩音	笠置
2023U-15 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 (第 42 回中牟田杯)	テニス	松商学園高等学校	山田 舞子	大井
ユニクロ全日本ジュニア選手権 2023				

## 報告8 ポーランド・オリンピック委員会記念式典への参加について

令和3年7月、東京2020オリンピック競技大会に出場したポーランドカヌーチームは笠置峡で事前キャンプを実施し、市はホストタウンとして全面的にバックアップを行い、本番では2つのメダル獲得につながった。

このことから、ポーランド・オリンピック委員会より市への感謝の意を込め、市長等がポーランド・オリンピック委員会記念式典への招待を受けた。

(1) 日程 令和5年5月26日(金曜日)

(2) 参加者 恵那市長、恵那市議会副議長、随行職員3名



ラドスワフ・ピエシエヴィッチ会長からの小坂市長へのメダル授与の様子

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和5年度の事業成果（令和5年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
1 健康づくり	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康増進を目的として、運動やスポーツを実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング等の手軽な運動（有酸素運動）が健康増進につながることは、広く認知されている。（87.8%）</li> <li>・意識的に普段から歩こうとしたり、今後ウォーキングに取り組みたいと考えている方が多い。（78.5%）</li> </ul> </li> <li>●運動やスポーツの実施状況の低迷                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、36.6%。国（53.6%：令和元年度）や県（47.7%令和元年度）より低い状況である。</li> <li>・運動やスポーツが思うようにできない理由としては、仕事（家事、育児）が忙しく時間がないという理由が最も多い。（31.6%）</li> <li>・働き世代の30歳代のスポーツ実施率が低い。</li> <li>・中高年の運動・スポーツ活動の推進、初心者向けのスポーツ教室の充実が求められている。また、高齢者や障がい者の方にとって、手軽な運動は交流や社会参加のきっかけとしても期待されている。</li> </ul> </li> <li>●高齢化の進展や生活習慣病の増加が懸念                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市は、全国や県と比較して高齢化率及び後期高齢化率が高い。</li> <li>・生活習慣病の受療率が県内他市と比較して高く、認知症や寝たきりなどの要介護者の増加、介護支援者の負担増加が懸念される。</li> </ul> </li> <li>●新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた運動・スポーツの取り組みが必要                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動スポーツの活動時のみではなく、普段の利用時においても感染防止を図る必要がある。</li> <li>・運動・スポーツを安全に行うには、一人ひとりの感染防止の意識と施設や競技ごとの感染防止対策の徹底が求められる。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動やスポーツを始めるきっかけづくりが必要。</li> <li>◎ウォーキングなどの身近な運動に取り組む。</li> <li>◎自身のライフスタイルに合わせて運動・スポーツに親しむことが大切</li> <li>◎健康寿命の延伸を図る。</li> <li>◎障がいの有無に関わらず、全ての人が運動・スポーツに親しむことが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民一人ひとりが運動・スポーツに親しむことが重要。</li> <li>●運動・スポーツを始めるきっかけが多く、身近な場所で、自身のライフスタイルに合わせて取り組むことができるまちを目指す。</li> <li>●年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人が健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ実施率 H26 R2 目標値（R7） 36.0% ⇒ 36.6% ⇒ 42.0%</li> <li>●積極値に歩いている人の割合 H26 R2 目標値（R7） 21.1% ⇒ 24.3% ⇒ 33.0%</li> <li>●健康であると感じている人の割合 H26 R2 目標値（R7） 77.9% ⇒ 77.1% ⇒ 82.0%</li> <li>●スポーツ実施者数 R2 目標値（R7） 360,738人 ⇒ 363,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健幸ウォーキング」プロジェクト                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・プチ講習でのノルディックウォークや歩き方講座を開催した。2回参加者：8名</li> </ul> </li> <li>●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢を健診対象者の16歳以上に引き下げて実施。3歳から中学生には別に運動の取り組みメニューを実施。子どもから大人まで運動・スポーツをする動機付けをした。 応募件数：271件 応募者：169名（9月30日現在） ※うち、3歳以上16歳未満の応募件数：22件</li> </ul> </li> <li>●「きっかけづくり」プロジェクト                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ・運動なんでも相談窓口」では、相談件数が4件。今後も、広報誌や窓口等で相談募集について引き続き、案内を行っていく。</li> <li>・4件の相談内容については、教室に参加をしてみたい、スポーツを習わせたいので団体を教えてほしい、新しいスポーツに挑戦してみたいがやっている団体があるか等の相談があった。 年2回市内全戸配布する体育連盟広報誌において、種目団体や地区体育協会のコーナーを設けて活動紹介を行った。また、各号で、何かをしながら手軽にできる「かんたんエクササイズ」を紹介し【その他の健康づくり施策】</li> </ul> </li> <li>○各種健康教室の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸推進課、包括支援センターと連携をとり、山岡健康増進センター及びまきがね公園体育館健康体力センターを利用して、健康教室を開催している。</li> <li>・「ココトレチャレンジ」4月～9月 延べ86名参加</li> <li>・「バランスボール教室」を新規で開催した。 まきがね公園バス停新設に伴い、バス利用者も参加できるように、教室を新規で開講した。17回、延べ124名参加。</li> <li>・プチ講習の実施(毎週金曜日) 1回30分の筋トレ、ストレッチボールなどのトレーニング講習を開催している。23回開催 延べ172名参加 まきがね健康運動教室の実施(毎週木曜日) 25回開催 延べ157名参加</li> </ul> </li> <li>○「まきがねde社員も会社も健康増進」事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より事業所ぐるみでの健康体力センター利用を、恵那商工会議所とも連携をとり、市内企業へ呼びかけている。 現在市内外11事業所から採用され、社員及びその家族に対して、健康体力センター利用が可能となった。その後も新規利用を促進するため、体験会などを開催している。 また、採用していただいている事業所には、事業所対抗スポーツ大会を案内するなど、継続的にスポーツの場を提供している。</li> </ul> </li> <li>○2023健幸フェスタInえなの開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月4日（日）まきがね公園にて開催した。会場では、健康、福祉、スポーツ部門の関係団体による展示啓発や体験を行い、7,000人の参加があった。スポーツ部門では、スポーツ体験や体力測定のほかに、小学生を対象にしたスポーツ能力測定会を実施し、103人の参加があり好評であった。</li> </ul> </li> <li>○高齢者の健康・体力づくり教室の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・壮健クラブにて軽スポーツ大会を6月22日に予定していたが、悪天候のため10月に延期した。昨年、新体育競技として「ポッチャ」を取り入れたことから、6月26日に武並で講習会と大会を開催した。35名参加。</li> </ul> </li> <li>○障がい者のスポーツ交流会の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京パラリンピックで話題になった、誰にでもできるスポーツ、ポッチャを交流会の種目として9月9日に開催。13チーム、67人参加</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健幸ウォーキング」プロジェクト                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・市内で開催されるウォーキング大会を市民メール等で紹介する。</li> </ul> </li> <li>●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・令和5年度は、紙面と同様の申し込みをアプリでも出来るよう、より参加しやすいプログラムへの変更した。(⑤運動コースと子ども運動コースは紙面のみ)だが、昨年度と比較しても応募者・応募件数ともに少ない。若い人へのアプローチはもちろん、高齢者への介護予防の視点からもプログラムの追加・変更も検討する。</li> </ul> </li> <li>●「きっかけづくり」プロジェクト                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・窓口やHP、広報誌等を活用し、スポーツに関して気軽に相談できるよう周知していく。</li> <li>・年2回発行の体育連盟広報誌で競技種目団体や地区体育協会の取り組みを紹介する。</li> </ul> </li> <li>【その他の健康づくり施策】</li> <li>○各種健康教室の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・体育連盟の広報誌にて自宅でできる健康運動の紹介や各種教室の紹介を実施する。</li> </ul> </li> <li>＜課題＞</li> <li>・各種教室において、新規参加者を増加させる取り組みが必要である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2024健幸フェスタInえなの開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・次年度は市政20周年事業として、各関係機関と調整をしながら盛り上げていく。</li> </ul> </li> <li>○高齢者の健康・体力づくり教室の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜課題＞</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響が、感染症法上、5類に移行されたため、マレットゴルフやバタンク等が各地区で行われるようになった。軽スポーツ大会も開催できるようになったが、参加者が過去に比べると減少傾向にあることや体力の低下も見受けられるため、時間の短縮（午前中）等の対応が必要になっている。</li> </ul> </li> <li>○障がい者のスポーツ交流会の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・引き続きポッチャを開催し、気軽に誰でもできることを発信し、障がい者がスポーツに取り組みやすい環境づくりを提供する。 11月5日、まきがね西体育館でポッチャ体験会を開催予定。</li> </ul> </li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スポーツ能力測定会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健康教室</p> </div> </div>					

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和5年度の事業成果（令和5年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
2 子どもの健全育成	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツをする人は、子どもの頃から運動をしている</li> <li>●運動やスポーツをすることは好きな人の割合は、子どもから大人に成長するにつれて減少傾向にある。</li> <li>●子どもの頃に運動が好きだった人は、大人になっても運動やスポーツが好きである傾向がある。</li> <li>●青少年の心身の健全育成が求められている</li> <li>●家族とのコミュニケーション不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域での人間関係の希薄化、地域活動への関心の薄れなどが問題である。</li> <li>●保護者の生活習慣と子どもの生活習慣は密接に関連している。保護者の生活習慣を見直し、子どもの健全な育成・発達をささえていくことが必要。</li> <li>●子どもたちの遊び場の環境変化</li> <li>●スマートフォン・家庭用ゲーム機の普及や安全性の観点などから、屋外で遊ぶ子どもの姿が少なくなってきている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎乳幼児期から身体を動かす楽しさを知ることが大切。</li> <li>◎運動やスポーツを楽しみながら続けられる環境が必要。</li> <li>◎運動・スポーツを通じて、身体だけでなく心の成長を促すことが大切。</li> <li>◎子どもたちが安心・安全に遊べる環境づくりが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが運動・スポーツを心から楽しむことが重要。</li> <li>●乳幼児期から親子で身体を動かす、身体を動かす楽しさを体感することができるまちを目指す。</li> <li>●子どもたちが豊かな自然の中や多様な人間関係の中で、運動・スポーツを通じて人と人とのつながりや思いやりをも体感することができるまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツが好きなこと もの割合 【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 62.7% ⇒ 66.5% ⇒ 75.0%</li> <li>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 52.0% ⇒ 54.9% ⇒ 63.0%</li> <li>●子どものスポーツ実施率 【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 62.5% ⇒ 68.2% ⇒ 79.0%</li> <li>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 76.8% ⇒ 80.9% ⇒ 90.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</li> <li>●こども園運動プログラムでは、全園（14園）へ体力測定機器を配備し、いつでも測定できる環境を整え、5～6月に各園で体力測定を実施した。</li> <li>●参加者：726名</li> <li>●こども園運動遊び交流会を6～11月に全14園で実施した。</li> <li>●参加者：267名</li> <li>●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児の親子を対象にした運動遊び行事を毎月実施し、乳幼児期に体を動かす楽しさを感じてもらおう工夫をしている。</li> <li>●5月 体をつかって遊ぼう 参加者：親子 9組21名</li> <li>●5月 ベビーマッサージ 参加者：親子 13組27名</li> <li>●7月 夏祭り 参加者：親子 39組84名</li> <li>●7月～8月 水遊び 42組85名</li> </ul> <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施</li> <li>●9月30日に市内小学生への公募によるオリンピックによるかけっこ教室を、陸上100m走元日本記録保持者の青戸慎司氏を招き教室を実施。</li> <li>●子ども82名・保護者53名の参加。</li> <li>●参加者へアンケートを実施し、「足が速くなった」「楽しかった」と好印象だった。</li> <li>●恵那市スポーツ少年団交流会実施事業 5月20日、21日野球 参加者約230名、 6月4日新規団員獲得事業 参加者約167名 9月9日、10日野球 約230名</li> <li>●東濃地区スポーツ少年団交流会実施事業 8月6日野球交流会 参加者約230名参加（恵那市単位団）</li> <li>●中学生トレーニング教室 中学生を対象に、各種目で必要となる動きづくりを指導する「中学生トレーニング教室」を開催している。</li> <li>●毎週水曜日 25回、155名参加</li> <li>●岐阜県スポーツ少年団実施事業 8月9日岐阜県スポーツ少年団大会 参加者4名（指導者1名・団員3名）</li> <li>○スケート場の利用状況について</li> <li>●初心者インラインスケート無料教室3回125名参加</li> <li>●キッズサッカー教室7回 159名参加</li> <li>●夕涼みインライン3回 565名参加</li> <li>●無料滑走：4/8、9夏季オープン236名、5/5ゴールデンウィーク407名、7/25夏休み無料開放（アヴェニールマルシェたけなみ同時開催）1,102名、10/9夏季最終日15名（雨天）を実施</li> </ul> <p>※令和4年度スケート場利用者数：夏季 8,930名 冬季 31,547名 年間 819名 計 47,982名</p> <p>令和5年度スケート場利用者数：夏季 12,852名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</li> <li>●&lt;取り組み&gt;</li> <li>●こども園全園（14園）では、引き続き体力測定と、保護者も参加する運動遊び交流会を実施する。</li> <li>●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児親子を対象とした運動遊び行事を年間を通して計画実施していく。</li> </ul> <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施</li> <li>●&lt;課題&gt;</li> <li>●コロナの影響もあり、毎年開催している教室事業での参加者が減少傾向にある。マンネリ化している教室については、市民に対して本当にやりたい教室なのか、今後、教室を開催するにあたって、どんな教室を開催してほしいのか状況把握が必要となる。</li> <li>●中学部活動の地域移行が本格的に進むなかで、地域の中で子供たちの受け皿になり、地域の子供たちがより参加しやすい事業の展開が期待される。</li> <li>●市内・市外交流会では、競技に偏らず、年間を通して参加をしていただけるよう、交流会の内容、実施時期について、指導者・担当者の参加意欲を高めるものとなるよう検討を重ね、広報に努め、多くの参加を募りたい。</li> <li>●引き続き、今年度、東濃地区スポーツ少年団新規事業として、「スタートコーチ養成講習会」が開催されたが、今後の指導者の拡充のため、引き続き、東濃地域及び県内で開催される講習会及び研修会への参加を促し、指導者不足を解消していきたい。</li> <li>○スケート場の利用状況について</li> <li>●&lt;取り組み&gt;</li> <li>●スケート場の冬季事業実施計画について</li> <li>●学校スケート教室：11月～2月、市内小中学校に呼びかけ、授業にスケート教室を取り入れることでスケートに慣れ親しむことのできる環境づくり</li> <li>●無料スケート教室：12月17日、1月28日、それぞれ2回ずつ</li> <li>●フィギュアスケート教室：12月2日から10回</li> <li>●無料滑走：11/23オープンイベント、12/3クリスタルデー、12/24クリスタルクリスマス、2/18最終日感謝イベント</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>こども園運動プログラム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オリンピックによるかけっこ教室</p> </div> </div>					

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和5年度の事業成果（令和5年9月末現在）	今後の取り組み又は課題																																	
3	<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツを通じた地域交流に期待 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じた、仲間・友人づくり、生きがいづくり、地域の絆を深めるコミュニティの活性化を期待している。</li> <li>・「年齢に関係なく」「地域と交流したい」という理由で、子どもから大人まで一緒になって運動・スポーツをする機会があれば参加したいという意見が多い。（23.8%）</li> <li>・子どもたちの多くが、地域の友だちや大人と一緒に運動やスポーツをしたいと考えている。（小学生：53.3% 中学生：73.7%）</li> </ul> </li> <li>●地域における運動・スポーツの担い手が求められている <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツ活動の担う人材・団体として、（公財）恵那市体育連盟、恵那市スポーツ推進委員、恵那市地域スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、地区体育協会などがある。</li> <li>・地区体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが企画・運営するイベントへの参加者数は減少傾向にある。</li> </ul> </li> <li>●ライフスタイルの変化に伴い地域のつながりが希薄化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの都市化が進み、地域のイベントや行事に参加する人が減少している。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課 題】</p> <p>◎地域にける運動・スポーツ活動を活性化し、地域の交流を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域コミュニティの核となる組織や場所などの資源を活用することが重要。</li> <li>●指導者や大会ボランティアなど様々な立場から「ささえる」人を増やし、ささえる人同士のコミュニティづくりが重要</li> <li>●各地域で活動しているスポーツ推進組織に活力があり、コミュニティセンターや学校開放施設などを拠点として、運動・スポーツを通じて地域の交流や絆が生まれるまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世代を超えたスポーツ機会への参加意向 H26 R2 目標値（R7） 29.2% ⇒ 23.8% ⇒ 30.0%</li> <li>●総合型地域スポーツクラブ主催イベント参加者数 H26 R2 目標値（R7） 12,699人 ⇒ 14,667人 ⇒ 17,000人</li> <li>●イベントボランティア数 R2 R7 1,055人 ⇒ 1,100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から継続してスポーツを始めたい方、再開したい方等気軽に相談できる窓口を随時受付中。 相談件数 4件</li> <li>・スポーツ教室 小学生から大人までを対象とした弓道、卓球、ソフトテニス、バドミントン、水泳教室を開催 弓道教室 10名参加 卓球教室 6名参加 バドミントン教室 29名参加 ソフトテニス教室 19名参加 水泳教室 48名参加</li> <li>・ウォータースポーツ教室 東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用した笠置峡は、穏やかな水面のため、水辺のスポーツ初心者でも安心して取り組める環境であり、それを有効活用するため実施、昨年は天候、ダム放流により実施出来なかった事が多かったため、予備日を設定して実施、カヌー(2回)、SUP(2回)、ボート(1回)の3種類の教室、プールを利用したSUP教室を企画し、開催した。 6月24日(土)※予備日 カヌー教室 39名 7月29日(土)※予備日 カヌー教室 27名 8月5日(土) SUP教室 23名 8月10日・17日(木) プールでSUP 10名 8月12日(土) ボート教室 23名 9月9日(土) SUP教室 35名</li> <li>・スケート場での教室(夏季事業) インラインスケート教室 3回 125名参加 キッズサッカー教室 7回 159名参加</li> <li>・市民体育大会の開催(8種目の実施※1種目中止) 6月18日 陸上競技(300名) 8月20日 アーチェリー(10名)、サッカー(中止)、卓球(50名) 8月27日 クレー射撃(58名)、ソフトテニス(36名)、 弓道(25名)、剣道(24名) 9月17日 バスケットボール(60名)</li> <li>・各地区体育協会では、市民体育大会参加のほか、町民対象の各種スポーツイベントを行った。</li> </ul> </li> </ul> <table border="1" data-bbox="1558 1113 2003 1512"> <tr><td>長島町体育協会</td><td>5月28日 町民ソフトボール大会</td><td>30名</td></tr> <tr><td></td><td>9月16日 町民レクバレー大会</td><td>40名</td></tr> <tr><td>東野体育協会</td><td>6月25日 健幸エクササイズ</td><td>30名</td></tr> <tr><td>三郷町体育協会</td><td>5月21日 レクバレー大会</td><td>60名</td></tr> <tr><td></td><td>7月23日 マレットゴルフ大会</td><td>45名</td></tr> <tr><td>武並町体育協会</td><td>7月2日 町民レクバレー大会</td><td>40名</td></tr> <tr><td>中野方体育協会</td><td>5月28日 マレットゴルフ大会</td><td>70名</td></tr> <tr><td></td><td>6月15,16,17日 ソフトバレー大会</td><td>50名</td></tr> <tr><td></td><td>8月4,5,6日 グラウンドゴルフ大会</td><td>60名</td></tr> <tr><td>岩村町体育協会</td><td>8月14日 町民ソフトボール大会</td><td>100名</td></tr> <tr><td>串原体育協会</td><td>7月26日 ボッチャ体験会</td><td>50名</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【その他コミュニティづくり施策】</li> <li>○総合型地域スポーツクラブの活性化 総合型地域スポーツクラブの会員数 えなイースト 284名 あけちクラブ 178名 福寿の里 79名 主なイベント えなイースト：バレー、卓球、ダンス等教室 あけちクラブ：貯筋運動、インラインスケート、ゴルフ教室等 福寿の里：フットゴルフ体験会、ソフトバレー大会 飯中笠クラブ：カヌー教室 スポーツ団体PR事業</li> <li>○認定生涯学習活動団体や恵那市体育連盟加盟団体の活動状況やPR等の情報を恵那市ウェブサイトに掲載した。 9月末現在 29団体</li> </ul>	長島町体育協会	5月28日 町民ソフトボール大会	30名		9月16日 町民レクバレー大会	40名	東野体育協会	6月25日 健幸エクササイズ	30名	三郷町体育協会	5月21日 レクバレー大会	60名		7月23日 マレットゴルフ大会	45名	武並町体育協会	7月2日 町民レクバレー大会	40名	中野方体育協会	5月28日 マレットゴルフ大会	70名		6月15,16,17日 ソフトバレー大会	50名		8月4,5,6日 グラウンドゴルフ大会	60名	岩村町体育協会	8月14日 町民ソフトボール大会	100名	串原体育協会	7月26日 ボッチャ体験会	50名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・引き続き、スポーツ教室では、市内小学校へチラシ配布、広報等での記事掲載を行い、多数の参加を募りたい。</li> <li>・各地区体育協会や地域ごとのスポーツイベントを開催する。</li> <li>・体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体での会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。</li> <li>・コロナが明けてから、参加募集の段階で中々参加者が集まらない状況。マンネリ化している教室は、必要性があるかの検討が必要となる。今後、各協会内で年間の計画に教室事業を取り込んでもらい募集、開催をしていく仕組みづくりが必要となる。</li> <li>・スポーツを始めるきっかけ作りとして各種スポーツ教室を実施する。ウォータースポーツ教室は継続開催し、水辺のスポーツを提供できる機会を市民に提供する。天候不平等により開催できない場合の予備日を設定し、より多くの市民に水辺のスポーツを体験してもらう機会を提供する。</li> <li>・スケート場冬季営業中の教室実施予定 学校スケート教室…11月～2月 無料スケート教室…12月17日、1月28日 各日2回ずつ フィギュアスケート教室…12月2日から10回 カーリング教室…12月10日、1月28日</li> <li>・市民体育大会の開催 ＜課題＞ 夏季種目を終え、秋冬種目へ準備を進めているが、年々参加町及び参加者が減っている。参加町で交流し、町対抗の得点制で大会が行われるが、競技を行っていない町では、競技人口も少ない状況からチーム編成をすることもできず、参加が減少し、現状、決まった町のみで開催している。市民大会のルールを幅広く参加者が参加できるように見直す必要がある。</li> <li>・各地区体育協会 ＜課題＞ コロナを挟んで各町イベントについても、参加者集めに苦慮されている。ポッチャなど新しいスポーツが普及してきているので、各町へ物品の貸し出しを行うなど、PRをしていく。</li> </ul> </li> <li>○【その他コミュニティづくり施策】</li> <li>○総合型地域スポーツクラブの活性化 ＜課題＞ 会員の減少 役員、指導者不足</li> </ul>
長島町体育協会	5月28日 町民ソフトボール大会	30名																																				
	9月16日 町民レクバレー大会	40名																																				
東野体育協会	6月25日 健幸エクササイズ	30名																																				
三郷町体育協会	5月21日 レクバレー大会	60名																																				
	7月23日 マレットゴルフ大会	45名																																				
武並町体育協会	7月2日 町民レクバレー大会	40名																																				
中野方体育協会	5月28日 マレットゴルフ大会	70名																																				
	6月15,16,17日 ソフトバレー大会	50名																																				
	8月4,5,6日 グラウンドゴルフ大会	60名																																				
岩村町体育協会	8月14日 町民ソフトボール大会	100名																																				
串原体育協会	7月26日 ボッチャ体験会	50名																																				
	 <p>カヌー教室</p>	 <p>卓球教室</p>																																				

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和5年度の事業成果（令和5年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
4 観光交流	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光まちづくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市には、恵那峡や奥矢作湖、中山道、岩村城址と街並み、日本大正村などの観光地を抱える都市である。</li> <li>・観光資源を活用し、交流人口を拡大させ、地域のにぎわいの創出、消費の拡大、雇用の場の確保など、地域の活性化に取り組んでいる。</li> </ul> </li> <li>●スポーツと融合できる観光資源 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木首川でのボート・カヌー体験、笠置山でのボルタリング、明知鉄道とタイアップしたウォーキングイベントなど観光資源を活用したイベントが行うことができる。</li> <li>・着地型体験コンテンツを目的として恵那市に訪れる交流人口が増加傾向にある。</li> </ul> </li> <li>●スポーツツーリズムが注目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅でスポーツを楽しむといった、スポーツと観光を融合し、新しい価値・感動の提供をめざす「スポーツツーリズムが全国的に活発している。</li> <li>・恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリーには、毎年多くの参加者がある。特に市外からの参加者が多い。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>◎観光資源と運動・スポーツの融合を図り、運動・スポーツを通じて交流・活力・にぎわいを生み出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然や文化が織りなす豊富な観光資源を、いかに運動・スポーツと融合させるかが重要。</li> <li>●自然や文化を生かしたスポーツ交流が数多く生まれ、運動・スポーツや観光を目的として多くの人々が訪れ、活気やにぎわいに満ちたまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ交流人口数 R2 目標値（R7） 13,425人 ⇒ 26,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・まきがね公園、山岡・明智B&amp;G等のスポーツ施設で、スポーツ合宿を受け入れた。 30件 928名</li> <li>・まきがね公園、山岡・明智B&amp;G等のスポーツ施設の予約状況が6月より導入された「公共施設予約システム」により、最新の予約状況を把握でき、合宿利用申し込み者の便宜を図った。</li> <li>・笠置峡ボート・カヌー場での実業団チームの合宿 中部電力ボート部 8月10日～13日</li> </ul> </li> <li>●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケート場で遊んだ後、恵那市を観光してもらうため「どこいくマップ」を配布。</li> <li>・インターネットサイト「アエルサイト」にて、カヌー体験や宿泊施設などの情報発信を行った。</li> <li>・森林アクティビティとしてハンモックツアーとシャワークライミングが造成された。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポーランド共和国との関わり <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用したことを契機として、ポーランドオリンピック委員会より令和5年5月26日ポーランドオリンピック委員会記念式典への招待。</li> </ul> </li> <li>○ウォータースポーツ教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用した笠置峡は、穏やかな水面のため、水辺のスポーツ初心者でも安心して取り組める環境であり、それを有効活用するため、カヌー(2回)、SUP(2回)、ボート(1回)の3種目の教室を企画した。</li> <li>・SUP場の一般開放を行い(2回)、市外を含め34名の参加。</li> </ul> </li> <li>○第37回日本大正村クロスカントリー 令和5年3月19日(日)に4年ぶりの開催をし、市内外から1,278名の参加。</li> <li>○第20回記念恵那峡ハーフマラソン大会 令和5年4月16日(日)に4年ぶりの開催をし、市内外から1,572名の参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・ジバスクラム恵那、観光協会、体育施設、宿泊施設が連携し、大学や実業団への共同プロモーション活動を実施する。</li> <li>・市内のスポーツ合宿受入可能な宿泊施設と、競技場や体育館などを合わせた一体的な情報発信をウェブサイトやSNSを活用して強化を図る。</li> <li>＜課題＞</li> <li>・中長期的には、給食や送迎など合宿に必要なサービスを提供する事業者に対し支援を図ることが求められる。</li> <li>・スポーツ合宿を通じて、関係人口を増加させるため、市民と大学や実業団が交流するスポーツ教室などの機会の開催に繋げる。</li> </ul> </li> <li>●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・ジバスクラム恵那による市内事業者と域外事業者の引き合わせ、コラボレーションによる事業実施に取り組む。</li> <li>・引き続き、事業者がアクティビティを造成するための支援を行う。</li> <li>＜課題＞</li> <li>・森林アクティビティや水辺アクティビティなど、できたコンテンツを広くPRしていく必要がある。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリンピック交流事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・オリンピックゴールドメダリストの小平奈緒氏と、小平氏のコーチである結城匠啓氏を招聘し、スケート教室並びに講演会を1月8日に開催する。</li> </ul> </li> <li>○第38回日本大正村クロスカントリー 令和6年3月17日(日)に開催予定</li> <li>○第21回恵那峡ハーフマラソン 令和6年4月21日(日)に開催予定</li> </ul>
					
恵那峡ハーフマラソン		SUP場一般開放			

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和5年度の事業成果（令和5年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
5 競技力向上	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●競技スポーツへの関心高まり <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月、9年ぶりの国体スピードスケート競技が開催され、市民のスポーツに対する関心が高まった。</li> <li>・令和3年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定により、人々のスポーツに対する関心は今後も高まる。</li> </ul> </li> <li>●子どもたちは、スポーツへの意欲・やる気がある <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、「スポーツが上手になりたい」「試合に勝ちたい」「よい記録・結果を出したい」という意欲・やる気がある。</li> <li>・世界を舞台に若いアスリートが多く活躍している。年齢を感じさせない彼らの活躍や努力を惜しまぬ姿勢は、子どもたちの憧れ・目標である。</li> </ul> </li> <li>●（公財）恵那市体育連盟のスポーツ指導者の登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・（公財）恵那市体育連盟は、市民の体力向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、スポーツの普及振興を推進している。</li> <li>・同連盟には、種目別、地域別に多くのスポーツ指導者が登録されており、子どもから大人まで、地域のスポーツ力の向上を支援する。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎質の高い技術・技能を持つスポーツ指導者を育成する。</li> <li>◎子どもたちの意欲・やる気を伸ばす。</li> <li>◎トップアスリートを育て、支えていく仕組みを築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「上達したい」という意欲・やる気を大事にして、感動や興奮を与えてくれる競技スポーツ・トップアスリートとのふれあえる機会が多く、質の高い技術指導が受けられることができ、地域全体でアスリートを支える体制の整ったまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちの「上達したい」意欲・やる気 <ul style="list-style-type: none"> <li>【小学生】</li> <li>H26 R2 目標値（R7）</li> <li>52.0% ⇒ 42.7% ⇒ 52.0%</li> <li>【中学生】</li> <li>H26 R2 目標値（R7）</li> <li>50.2% ⇒ 40.2% ⇒ 51.0%</li> </ul> </li> <li>●国際大会出場選手 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 R2 目標値（R7）</li> <li>0人 ⇒ 1人 ⇒ 3人</li> </ul> </li> <li>●競技人口 <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 R2 目標値（R7）</li> <li>4,748人 ⇒ 4,200人 ⇒ 4,200人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者・ボランティア名簿を体育連盟ウェブサイトに掲載し、活躍する場を提供している。</li> <li>登録者数 81名</li> <li>※スポーツ指導者：59名 ボランティア：22名</li> </ul> </li> <li>●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月20（日）にまきがね西体育館にて、岐阜スーパースを講師に招き、指導者の指導力向上、小学生参加者の競技力向上のため【恵那市バスケットボール教室】を開催した。総勢107名の参加となった。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の競技力向上施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドクラス、全日本クラスの選手2名（石川将之、遠藤二千翔）を昨年度に引き続き恵那市体育連盟で雇用し、競技力向上と後進の指導にあたり、国体をはじめ、全国レベルの大会での活躍を紹介しスケートへの関心を高める。また、大会において地元選手との交流や技術指導を受けることにより、選手の競技力向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月12日、トップ実業団である中部電力ボート部、デンソーボート部、トヨタ紡織ボート部によるボート教室を企画し、小学生から一般まで23名が参加した。</li> <li>・8月20日、小中学生のバスケットボールクラブ員及びその指導者に対して、岐阜スーパースによるバスケットボール教室を開催した。</li> <li>・9月30日、小学生を対象に、100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけっこ教室を実施した。全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図った。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;課題&gt;</li> <li>・若い年代の指導者が少ない。</li> <li>・指導者を地元以外の地域から派遣することが難しい。</li> <li>・指導者と指導を求める側の条件のミスマッチがある。</li> </ul> </li> <li>●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;取り組み&gt;</li> <li>12月 9日（土） 中京学院大学卓球部 卓球教室</li> <li>12月17日（日） 中京大学青戸慎司先生 陸上教室</li> <li>12月23日（土） 中京学院大学ソフトボール部 ソフトボール教室</li> <li>1月中（調整中） 中京学院大学硬式野球部 野球教室</li> <li>2月12日（月） 十六銀行卓球部 卓球教室</li> </ul> </li> <li>○スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;取り組み&gt;</li> <li>・引き続き、岐阜県の優秀選手活用事業の委託を受け、体育連盟所属選手として、2名のスピードスケート強化育成選手として雇用し、選手の活躍を見せるとともに、恵那のスケート選手強化育成のため、世界で戦える技術指導を行う。</li> <li>10月24日に小・中・高校生の選手を対象に、上記2名によるスケート教室を開催し、地元選手の競技力向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;取り組み&gt;</li> <li>・令和6年1月8日（月祝）に、平昌オリンピックゴールドメダリストの小平奈緒さんを迎え、スケート教室と講演会を開催する。</li> <li>・12月17日（日）にかけっこ教室の講師でもある、日本人男子初、夏冬オリンピック出場の青戸慎司氏による中学生陸上部を対象としたスプリント教室を開催する。</li> </ul> </li> </ul>
	 <p style="text-align: center;">ボート教室</p>				